

理科

教科の重点目標 科学的な考え方を身につけ、身近な事象に関心を持たせる。

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証（成果と課題）
第三学年	<p>◎考える力を伸ばす観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2年次の基礎的な内容の定着が低いところがある。そのため思考を巡らせ考えを導き出すことを苦手と感じている生徒が多い。 <p>◎習熟の程度に合わせる観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識が定着し実験や観察を効率よく進められる生徒と、時間のかかる生徒に分かれる。時間のかかる生徒ほど実験を失敗し、一からやり直す確率が高い。 ・計算での学力の差が激しい。 <p>◎生徒による授業評価からの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒は理科に対する興味関心をもって授業を受けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な1、2年次の復習を授業の導入で取り入れ、3年次の内容との関連性を常に意識させて授業を進める。 ・実験や観察のポイントを明確にし、授業時間内で全生徒が正しい結果が得られ授業内で課題解決がなされるようにする。早く課題解決がなされた生徒に関しては、実験補助に回らせることで、さらなる知識の定着を図る。 ・演習問題を多く取り入れるとともに、身近な自然現象など発展的な問題を準備し応用力も身につけさせる。 ・課題の前に予想や仮説を立てることで、見通しをもった学習につなげる。 ・実験や観察においても目的を明確に示し、目的に沿った結果から比較検討させる場面を設け考察につなげていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストや授業の導入時に振り返る時間を多くとり思考を巡らせる上で大切な要素をきちんと身につけさせることで、意欲的に考える態度を育てる。 ・受験生という点を考慮し、関連した事項に触れて1、2年次の内容も復習させる。 ・ワーク類を2回やるように声をかける。 ・单元ごとにまとめプリントを用意し、知識の定着を図る。 ・特に計算問題については授業の導入時などで演習を多く取り入れる。 ・実験結果や考察、板書のまとめなどのノート指導を充実させることで、補充的、発展的な学習の足がかりとし意欲的に取り組められるようにする。 	